柘植地域
まちづくりだより
第291号

発行日
２０２３（令和五）年四月一日（土）

発行
柘植地域まちづくり協議会事務局
三重県伊賀市柘植町一〇六四七番地
（柘植地区市民センター内）
〒五一九-一四〇二
電話 四五-八八〇　ＦＡＸ 四五-八八三

令和五年度『役員』改選に伴う【書面決議】結果について

今般「柘植地域まちづくり協議会」に於いて、二年毎の役員改選に伴う「臨時総会」はコロナ禍収まらぬ今回も、二年前に引き続き「書面決議」にて執り行われました。去る３月７日、総会構成員１５名の内、１４５名の方から「書面表決書」を提出して戴き（６名未提出）尽いては、左記役員改選（案）の開票結果をお知らせ致します。

賛成１４４　反対１、本議案については、ほぼ満票を以って可決・承認された次第です。

第１号議案　　役員の改選（案）について

柘植地域まちづくり協議会規約第５条及び第６条、第８条の規定に基づき、任期満了に伴う役員及び監事の改選について下記のとおり提案いたします。

尚、下記の方々につきましては、柘植地域まちづくり協議会役員選考委員会規則（第３条）に基づく役員選考委員７名から推薦をいただき、併せて当該協議会の運営委員会において承認（規約第11条）を得ていることを申し添えます。

但し、副会長４名の内２名は規約第５条に基づき次期の１２区連絡協議会（区長会）から選出された方を充てさせて頂きます。

（敬称略）

会　長（１名）	宮　田　隆　司
副会長（４名）	堀　田　　穂
	安　岡　昌　子
	１２区連絡協議会（区長会）より
	１２区連絡協議会（区長会）より
書　記（１名）	清　水　則　雄
会　計（１名）	服　部　聖　子
監　事	内　田　明　良
（２名）	西　田　哲　也
新顧問	町　田　盛　次

会長就任の御挨拶

宮田　隆司

うららかな陽春の候、柘植地域の皆様に於かれましては、お健やかにお過ごしの事と拝察申し上げます。

小生、格闘技の中でも殊に大相撲が大好きなものですから、こと此処に至る迄の経緯を、相撲の「序二段」での取組に喩えて記させて戴きます事、御容赦下さい。

やっと序二段に上がれたと思った今年の初場所。格上の町田山（新四股名・三又山）三勝三敗。方や宮田丸、三勝三敗の五分で勝ち越しを掛けた千秋楽の大一番。押しに押されたが、此方も投げを打ったり突いたりして応戦したが、最後には大うっちゃりで遂に敗北を喫した。・・・その後、二月三月はこの事で頭が一杯でありました。

改めて、此の度の役員改選に際し、会長に選任されました、宮田隆司で御座います。前会長の町田盛次様、二年間本当に御苦労様で御座いました。全てに於いて積極的でバイタリティーに溢れた貴殿を見本として受け継いで参りたいと考えております。

とは云うものの、私の様な「浅知短才」の未熟者が会長という大役が務まるのか、大いに不安でありますが、生まれ育った愛する「まち」の為に多少なりとも貢献出来る事が有ればと思いお受け致した次第です。

仰せつかったからには、精一杯尽力してゆく所存で御座います。今後、役職を円滑

柘植地域俳句コーナー

噴き出でし
馬酔木若葉の
茜色
桑原　智代美

に推進する為にも此れ迄の骨格を形成されて来た先輩諸氏をはじめ、各区区長・各部会長・委員長、関係役員の皆々様の御支援を切にお願い申し上げます。

さて、遅くなりましたが、私の志の中心となる考え方と方向性を少しですが宣べさせて戴きます。メインとするのは、真近に迫った２０２５年問題（超高齢化社会）。

そして、その後の２０４０年問題（団塊ジュニア世代）への持続対応可能な準備へ特化し、地域一体となった「攻めと護り」（守り）の「福祉制度の充実」であります。

本課題を「まちづくりの最重要テーマ」として捉え、今後起こり得る現象〈人は減る／高齢者が増える／頼る人は居ない／お金（税収）も減る〉等々の諸問題に対して、持続対応可能な準備を進めて参りたいと考えております。

地域・住人が一体と成り、柘植を取り巻く企業（地域包括協定）・物流関係・店舗・行政等のノウハウを縦横無尽に拝借し、互いのギブ・アンド・テイクで「絆」を強くして行くイメージです。

【持続可能な全員参加のまちに成っている】事をスローガンとして、地域の皆様方の御理解・御指導と御鞭撻、そして御協力の程をお願い申し上げ、就任の御挨拶とさせて戴きます。

令和四年度 第４回『防災委員会』

令和４年度・最終と為る『防災委員会』が３月９日（木）20時から市民センターで開催されました。本年度の活動実施報告／『安否確認・避難支援登録シート』2023～2026用の配布／令和５年度・区防災委員、及び初動リーダー選出の件／初動リーダーへの貸与物品の返納要領／大垣市に於ける避難情報お知らせコールサービス事業の紹介等に関して、服部防災事務局長から説明が有りました。

最後に、服部文昭さんから退任の御挨拶が有りました。８年間の長きに渡る防災事務局長の重責誠に御苦労様で御座いました。

令和四年度 第４回『運営委員会』

令和４年度の『運営委員会』〈まち協・役員、12区長、各部会長、委員長が出席〉も３月17日（金）が最終となり19時半から市民センターにて開催されました。本年度の総括（各委員長・部会長・12区長より、２年間の活動概要報告）／まち協一般会計補正予算／次年度まち協・役員体制／伊賀市スポーツ推進委員の推薦について協議、引き続き中川秀紀さんにて就任受諾戴きました。２年間の任期を全うされた12区の区長さん、及び退任される委員長部会長の各位に於かれましては誠に御苦労様で御座いました。

【サークル・教室紹介】第16弾
オカリナサークル『トトロ』

令和４年度代表　鈴木 ひろみ

毎月第二土曜日十時～十一時三十分まで、「なかおかフルート＆オカリナ」主宰者の中岡 信子先生に、九名のメンバーが、オカリナのご指導を受けております。童謡、唱歌、テレビ・映画の主題歌、ポップス、懐かしい日本の歌や海外の民謡など、あらゆるジャンルの曲に挑戦しています。

手作りで素焼きの陶器のオカリナは、息の強さや気温により音高が変動しますが、閉塞管と言う形状から生まれる音は、とても柔らかく、どこか懐かしく、人の心を癒す音色です。

サークルでは、アルト５Ｃ管とソプラノ２Ｆ管の二本のオカリナを使い分けて練習しています。

（メーカーにより名称は異なります。）

「オカリナは口先で吹くのではなく、お腹に入れた空気を少しずつ吐くことによって音を出して下さい。腹筋を常に意識して、吹きましょう。」と、中岡先生からご指導をいただきますが、これがなかなか難しいのです。（笑）

初見では難しくてとても吹けないと思っていた曲も、少しずつ吹けるようになると、元気が出ます。

毎回、譜面とにらめっこし、音程と指使いに四苦八苦しながらも、楽しく練習に励んでいます。

【オカリナ】
ocarina

１８６０年、イタリア人のドナティに依って創製された。（小さなガチョウの意。吹口がガチョウのくちばしに似ている為）粘土又は陶器製の気鳴楽器。下に突き出した吹口から息を吹き入れ、指で８～１０孔を開閉して音を出し、開いている指孔の大きさと数が音高を決定する。（中央部に大きな吹口が突出し、其の付け根に歌口となる穴が開いており、表に指孔８、裏に親指孔２が有る）【マイペディア百科事典】

蒸気機関車 SL D51 復元モデルが市民センター正面玄関に登場!!

故 鳥喰辰夫さん（野村区）が所蔵されていた幾多の「鉄道模型」の中から、金メッキが施された【SL・D51】を寄贈戴き、市民センターの正面玄関に展示しています。当模型は車輪が動き、汽笛が鳴り、ライトが点灯する優れモノで国鉄OB会の辻本健男さん（上町区）が修復された次第です。センターにお立寄りの際は是非御覧下さい。

落語を楽しもう！【しょうもん亭】

伊賀上野 前田教育会館 芭蕉ホールにて、3月12日（日）開催された落語会に柘植から27人の皆さんが参加。桂 文鹿【前列中央】笑福亭喬介【左隣】笑福亭喬明【着物の女性】の3人の落語家に依る高座での出し物を楽しみました。二時間半に渡る演目は、聞き応えが有り「噺家」の話芸を堪能しました。

★☆ 編集後記 ☆★

初桜 折りしも今日は 良き日なり【松尾芭蕉】貞享五年1688年・芭蕉45歳の作上野天神宮の境内に折りしも初桜が咲いて天気も好く会の発足に相応しい誠に良い日に成った。（伊賀蕉門の弟子達が月例俳句会を立ち上げた設立総会の日に際し句作）

▼季節は巡り春暖の候、今年も桜花爛漫の四月（卯月）が到来。春は「別れと出会い」が交錯する時節。各地の学校、様々な職場、地域で種々の別離と遭遇が繰り返され、そうして時は行き過ぎて往きます。（えしゃじょうり）

▼「会うは別れの始めなり」【会者定離】

▼けふまでの 日はけふ捨てて 初桜【加賀千代女】今日までの日々は、今日捨ててしまおう。初桜が咲いたことを契機に咲く前までの日々から心機一転しようという決意の句。

▼苟（まこと）に日に新たなり、日々新たにして、又日に新たなり。【殷の湯王】が毎日使う洗面器に刻んだ句・・明治維新の「維新」は「維（これ）新たに」という意味で此の句が元。今日迄の事は、今日迄。悪い事も今日で終わり。明日からは又新たなり。日々新たな気持ちで明日を迎えよう。

▼振り向くな、振り向くな。後ろには夢が無い。【寺山修司】・・・過去は過去。後ろは見ないで前を向きましょう。〈清水〉